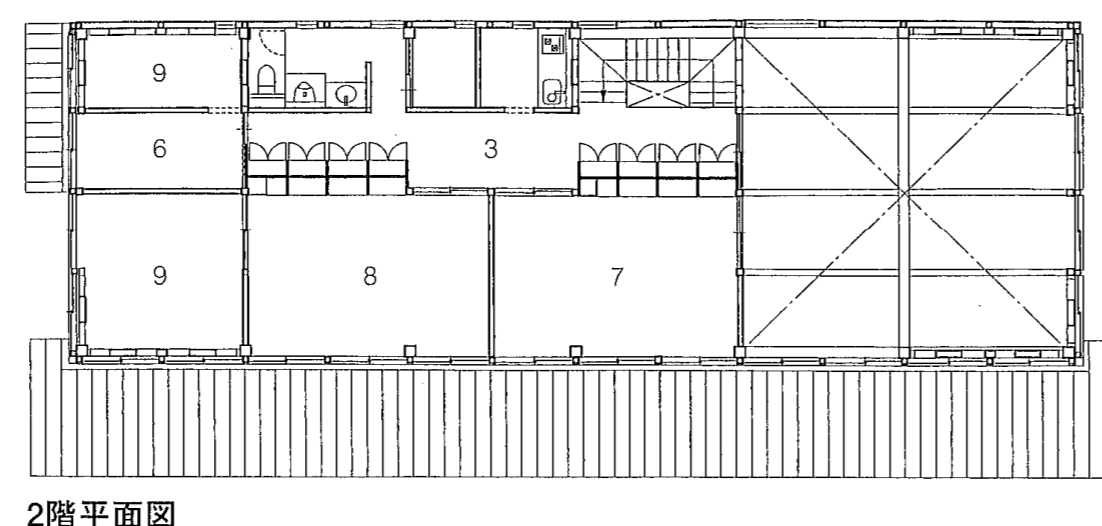
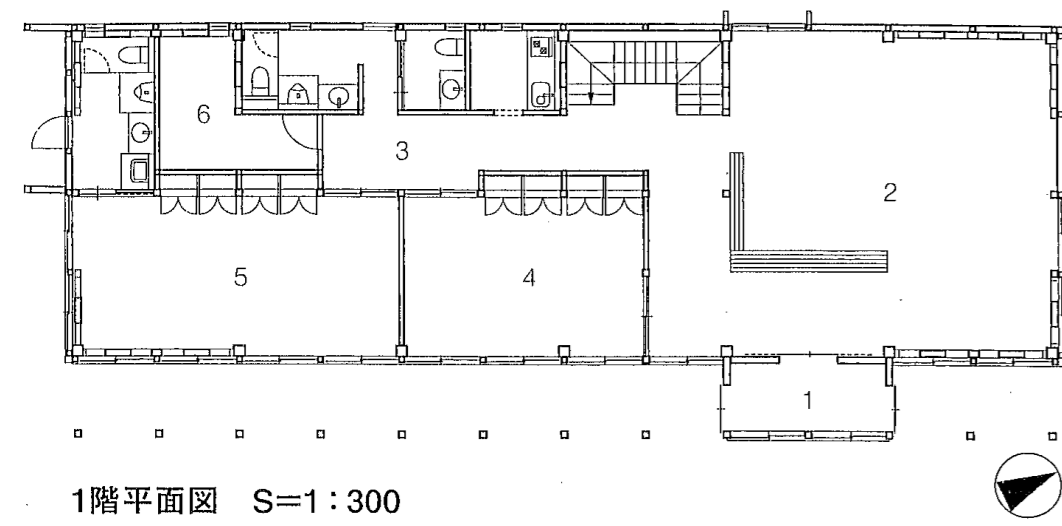


建設地：福島県いわき市勿来町
 構造：木造2階建て
 建築面積：205.69m²
 延床面積：280.42m²



- 本建物は大断面JAS製材を使用し、その技術の展開、普及に向けてのプロジェクトである。
 戦後70年を経た中大径無垢材を使用し、長スパン、かつ開放的で、プランの自由度の高い、中大規模木造建築に広く適用できる建築・工法を目指した。今回の事務所建築や学校等、多様な中大規模木造建築を作る際の選択肢の一つとして位置付けられ、林業や木造建築の発展に寄与出来るものとする。
- 構造…高耐力壁と合成組立梁、その組合わせを開発した。
 高耐力壁…透過性をもった高耐力壁「貫壁」は調達のしやすさ、コストの面からスギ材を使用。特殊な金物を使用せずに、採光・通風を確保できる通し貫による格子壁を採用し、壁倍率で8~10倍を確保した。(図1)
 合成組立梁…上下弦材に8寸角の無垢のスギ材を使用した長スパン用合成組立梁を作成。今回は重ね梁と断面性能をアップさせるため、上下弦材間に距離をとった重ね透かし梁の開発を試みた。(図2)
- 施工性…地場の大工・工務店による施工の可能な納まり工法を検討。
 木のカーテンウォール…8寸角を基本とした柱・梁の構造フレームに木造住宅等で柱材として使う3.5寸(105)角材をマリオンとして使用。垂直方向を6尺(1間)間に、水平方向をアルミサッシュ規格品の高さに合わせた。
 住宅用規格サッシュ…住宅用外付け規格サッシュは、3.5寸角材フレームに直接被せて取付けが出来るため軸組精度を必要としない。又内枠材を必要とせずコストダウンが図れた。
 尺モジュール…一般木造と同じく尺寸モジュールを採用、3.5寸角6尺間、規格サッシュ等、地場の大工さんの手で出来る、わかりやすい施工をめざした。
- 長寿命化…外皮を構造体の面外にカーテンウォールとし、2階床を踏天井、野地板現しとすることにより全ての構造体が見えるようになっている。乾燥収縮等の動きは無垢材に於いては宿命であるため、高耐力壁のダボの緩み、楔の内打直しが可能となっている。又構造体の可視化により、増改築、間仕切りの変更等が容易となり、建物の長寿命化に期待できるものとなった。



- 1 玄関ホール
- 2 事務室
- 3 廊下
- 4 打合室
- 5 休憩室
- 6 ロッカー室
- 7 会議兼研修室
- 8 設計室
- 9 物置

